

せつめい上手になるう

3年 組 食べ物ブックを作ろう

調べたじょうほうから文の組み立てを考えよう。

文章の組み立てを考える

はじめ

- 調べようと思ったわけ
- 食品のしょうかい
- 問いの文

中

形そのまま

ごはん  
すし  
ポンがし

こなにして

もち  
だんご  
ビーフン

そのほか

日本酒  
米ぬか

終わり

- 「」のよじり「」を使う
- 分かったことのまとめ
- 自分の考え

調べて分かったことの小見出しについては、「すがたをかえる大豆」を参考にしました。適宜考えさせるようにしてください。また、「カレーライス」等を調べた場合には、7時目で考えた調べることの項目を挙げる事が考えられます。

付せんメモを使って構成を考える作業を、個々の机上で行わせる。

形そのまま

ごはん  
すし  
ポンがし

こなにする

もち  
だんご  
ビーフン

そのほか

日本酒  
米ぬか

ごはん  
もち  
すし  
だんご  
ビーフン  
日本酒  
米ぬか  
ポンがし

食品のまとまりの見出しを付けることは、意味段落を考える上で、とても大切なことです。分類させるときに意識させよう。

10 / 17 時間目 指導略案 使用するワークシート… 及び情報カード  
活動のねらい  
情報カードを基に情報を整理し、文章の構成を考えることができるようにする。

- 1 本時のめあてを確認し、学習の見通しをもつ。  
本時の時間配分を明らかにしておき、個人作業の時間の見通しをもたせる。
- 2 情報カードから「中」の構成を考える。  
情報カードの「調べて分かったこと」の食品名や調べた内容を付せんに簡単に書き出す。(付せんメモ)  
付せんメモを移動しながらまとまりを考え、その小見出しを付ける。  
自分が書きたいこと(テーマ)に合わせて、どのような順番で事例を書くかを考える。
- 3 「はじめ」と「終わり」の部分の内容を考える。  
「はじめ」と「終わり」に何を書くか確認する。  
「終わり」に何を読み手に伝えたいのか、「すがたをかえる大豆」の本文を参考に考える。  
「中」の事柄の順序を考えるためには、「はじめ」と「終わり」で表したいことがはっきりすることが大切であることを理解させる。
- 4 文章全体の構成を考える。  
情報カードや付せんメモを利用して、「中」の構成を考える。  
順序性や関連性を考えて接続語を入れる。  
どの順序がよいかを考えさせるために、「すがたをかえる大豆」の構成を参考にさせる。
- 5 本時を振り返り、自己評価をする。

評価 情報を整理し、文章の構成を考えることができる。